

年 組 名前 :



こがらしぶどう 今が旬

山梨市牧丘町で、収穫期を2カ月程度遅らせて希少価値を高めた「こがらしぶどう」の収穫がピークを迎えている。

こがらしぶどうを栽培しているのは、JAフルーツ山梨 笛川支所管内の農家7軒。雨よけの農業用ハウスで巨峰とシャインマスカットの収穫期を遅らせることで、希少価値を高めている。首都圏を中心

「こがらしぶどう」を収穫する農家 山梨市牧丘町倉科  
ツトを栽培。現在はシャインマスカットの収穫作業がピークを迎えていて、17日は安部さんが一房ずつ丁寧に収穫していた。  
こがらしぶどう部会の鶴田 貢一郎部会長(56)は「こがらしぶどう特有の奥ゆかしさのある甘さを楽しんでもらいたい」と話している。JAフルーツ山梨によると、収穫作業は12月上旬まで続く。  
〈松本飛勇馬〉

(2022年11月18日付 山梨日日新聞 1面)

問1

「こがらしぶどう」は、普通のぶどうと、どこが違うぶどうのことですか。

.....  
.....

問2

「こがらしぶどう」として販売しているぶどうの品種を2種、教えてください。

.....

問3

「こがらしぶどう」を栽培し販売することは、どのような利点がありますか。

.....